

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		農業水産課
	01	04	01	04	01	

政策
地域資源の保全と活用

政策の内容

耕作放棄地の解消や棚田振興等の農地保全に取り組むとともに、水源や自然環境の保全、景観、災害防止といった農山村の有する多面的機能を維持するため、農村関係人口の増加による農山村の活性化を図ります。食農教育を推進することで、市民の本市農林水産業への理解や農林漁業者とのつながりを深め、新鮮で安心感が得られる地産地消の取組拡充を図ります。農業分野では有機農業の促進、水産業分野ではブルーカーボンの導入、林業分野では建築物の木造・木質化や花粉症対策に取り組む、環境負荷低減等による持続可能性の確保に努めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

本市は、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、多種多様な農林水産物が生産・収穫されることが特徴である。一方で、水産物の水揚量は減少傾向にあり、この豊富な資源を次世代につなげていくためには、都市部と農山漁村の交流人口増加により地域農業への理解を深めていく必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	379,227				
決算	253,216				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	1.8				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.8				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
フルーツパーク 管理運営事業	フルーツパークの施設を適正に管理・運営することで、果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくるとともに、果樹農業の振興及び地域の活性化を図る。	256,988
		248,959
水産振興協議会 等支援事業	水産関係団体との連携により、水産に関する最新の情報と資料の収集を図り、水産振興施策を推進する。	118,739
		1,671
水産振興助成事 業(補助金)	本市特産海産物のトラフグ、クルマエビ、ノコギリガザミの稚魚放流や、種苗の中間育成のほか、水産資源の管理・保護対策事業等を実施する浜名漁業協同組合を支援する。	3,500
		2,587

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
【フルーツパーク 管理運営事業】 フルーツ収穫体 験人数 (人)	フルーツパークにおけ る、各年4月1日から3月 31日の収穫体験受付人 数	園内果樹の管理を適切に実施 し、収穫体験件数の増加を目指 すことが、来園者の増加につな がる。	目標値	-	40,000	40,300	40,600	41,000	41,500
			実績値	33,298	37,563				
			達成率	-	93.9%				
親うなぎ放流量 (kg)	浜名湖発親うなぎ放流 連絡会によるうなぎ放流 量	放流により水揚高の増大が図ら れる。	目標値	-	200	200	200	200	200
			実績値	202	186				
			達成率	-	93.0%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
【フルーツパーク 管理運営事業】 来園者数 (人)	フルーツパークにおけ る、各年4月1日から3月 31日の来園者数	来園者の増加が、果樹をはじめ とする地域農産物への理解を深 め、果樹農業および地域の活性 化につながる。	目標値	-	233,500	235,500	237,500	240,000	242,500
			実績値	220,108	196,325				
			達成率	-	84.1%				
天然うなぎ水揚 高 (千円)	漁業協同組合の天然う なぎ年間水揚高	水揚量の増加は、持続的に水 産資源が確保されていると考え られる。	目標値	-	38,000	38,500	39,000	39,500	40,000
			実績値	37,677	27,475				
			達成率	-	72.3%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
市内の1農家当たり農業産 出額 (千円)	○	浜松市農業産出額／浜松 市農家数	実績値	3,091 (2022 年度)	2026年 8月確 定					4,300
			達成率	72%						
組合員当たり水産業協同組 合の年間取扱高 (千円)		水産業協同組合の年間取 扱高／組合員数	実績値	4,331	4,334					4,400
			達成率	98%	99%					
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
フルーツパーク 管理運営事業	指定管理者の創意工夫により時節に応じた様々なイベント等を行い、来園者に対して農業振興及び地域の活性化を図った。また、管理事務所棟の空調改修工事等により、施設老朽化への対策も進めている。	指定管理者の創意工夫に頼るだけでなく、市としても入園者数増のための広報活動等を行っていく。
水産振興協議会 等支援事業	各協会等に対する支援(負担金) (1)静岡県遊漁船業協会 (2)海上保安協会御前崎支部 (3)浜名湖地区水産振興協議会 (4)静岡県漁港漁場協会 (5)静岡県おさかな普及協議会	各団体の研究会等へ参加して、知識を高め、他市町村や団体職員と交流し、情報収集を進めていく。
水産振興助成事業(補助金)	漁業協同組合が実施する特産海産物の放流・資源管理・保護対策事業に対し、事業費の一部を補助を実施した。 補助率:対象経費の1/3以内	浜名漁業協同組合及び漁業者に支援を実施し、今後において水産業の安定的発展を図る。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・フルーツパークでの収穫体験や獲れた果物を使ったジャムなどの加工品制作を通じて食農教育を推進し、収穫体験者数は前年度を上回ることができた。2026年度は開設30周年を迎え、様々な記念事業を実施するなど、引き続き、指定管理者と連携して、果実をはじめとする農産物に親しみ理解を深める場として活用していく。 ・ウナギの資源保護に向けて親ウナギの放流を行ったほか、漁業協同組合が実施する浜名湖の特産物であるトラフグ、クルマエビ、ノコギリガザミの稚魚放流を支援した。引き続き、漁業協同組合等と連携し水産資源の保護に努め、本市水産業の持続的発展を図る。 ・フルーツパークは入園者は減少したものの収穫体験者数は前年度を上回り、多くの方に浜松産の農産物に触れてもらうことができた。また、浜名湖の資源回復のための取り組みも継続して実施できた。2026年度も計画的に事業を実施し浜松市農業振興ビジョンに掲げる「もうかる農業の実現」に繋げる。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		農業振興課
	01	04	01	04	02	

政策
地域資源の保全と活用

政策の内容

耕作放棄地の解消や棚田振興等の農地保全に取り組むとともに、水源や自然環境の保全、景観、災害防止といった農山村の有する多面的機能を維持するため、農村関係人口の増加による農山村の活性化を図ります。食農教育を推進することで、市民の本市農林水産業への理解や農林漁業者とのつながりを深め、新鮮で安心感が得られる地産地消の取組拡充を図ります。農業分野では有機農業の促進、水産業分野ではブルーカーボンの導入、林業分野では建築物の木造・木質化や花粉症対策に取り組む、環境負荷低減等による持続可能性の確保に努めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

2024(令和6)年度に新規に開設した市民ふれあい農園は0件であった。広報はままつによる市民ふれあい農園開設者募集のお知らせは効果が高く、例年数件の問い合わせがあるが、開設の条件が農地所有者の意向に合わない、農地の状況が市民ふれあい農園に適していない等の理由で開設に至らないケースや農地の相続に伴い閉園する既存農園が増えており、市民ふれあい農園の全体数は減少傾向にある。また、利用者にとっては自宅から近距離の農園が少なく、利用しないケースが見受けられる。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	713				
決算	432				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.1				
会計年度任用職員	0.7				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.1				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
市民ふれあい農園支援事業	農業振興地域内の遊休農地の有効活用およびレクリエーションなど多様化する余暇活動対策の一環として、市民が農業に親しみ、理解を深めるための憩いの場となる「市民ふれあい農園」を適切かつ円滑に整備する。	713
		432

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
市民ふれあい農園数 (か所)	市民農園整備促進法に基づき整備された市民農園	市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策としてこの指標を設定した。	目標値	-	40	40	40	40	40
			実績値	40	41				
			達成率	-	103%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
利用率 (%)	浜松市内市民ふれあい農園全区画数に対する利用区画数 (区画数ベース、休園除く)	市民農園の利用率を測る指標数であり、実績値の増加により、遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	84.0	84.0	86.0	86.0	88.0
			実績値	84.2	83.0				
			達成率	-	99%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
市内の1農家当たり農業産 出額 (千円)	○	浜松市農業産出額／浜松 市農家数	実績値	3,091 (2022 年度)	2026年 8月確 定					4,300
			達成率	72%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
市民ふれあい農園支援事業	農業振興地域内の遊休農地の有効活用及びレクリエーション等、多様化する余暇活動対策の一環として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる「市民ふれあい農園」を適切かつ円滑に整備を行った。 開設2件、廃止1件	引き続き、市民ふれあい農園の利用者及び新規開設の募集について広報はままつ、ホームページ等で周知する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

市民ふれあい農園支援事業については、指標の進捗はおおむね順調であった。引き続き、市民ふれあい農園の利用者及び新規開設の募集について広報はままつ、ホームページ等で周知し、市民ふれあい農園数を維持していく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		農地整備課
	01	04	01	04	03	

政策
地域資源の保全と活用

政策の内容

耕作放棄地の解消や棚田振興等の農地保全に取り組むとともに、水源や自然環境の保全、景観、災害防止といった農山村の有する多面的機能を維持するため、農村関係人口の増加による農山村の活性化を図ります。食農教育を推進することで、市民の本市農林水産業への理解や農林漁業者とのつながりを深め、新鮮で安心感が得られる地産地消の取組拡充を図ります。農業分野では有機農業の促進、水産業分野ではブルーカーボンの導入、林業分野では建築物の木造・木質化や花粉症対策に取り組む、環境負荷低減等による持続可能性の確保に努めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

農村地域では、高齢化や混住化等の進行に伴う農業関係人口の減少や遊休農地の増加等が進行していることから、多面的機能を有する農地の維持保全に向け、関係機関が連携して農業用施設を含めた荒廃化などの問題解決に取り組む必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	237,215				
決算	205,349				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	2.1				
会計年度任用職員	1.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.7				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
多面的機能支払い交付金事業	○未取組地区への事業普及、推進 多面的機能支払交付金事業に関わる組織の広域化や新規取組組織の発掘を推進するとともに、 浜北地域を対象とした組織の広域化を実施する。	233,412
		201,997
棚田サミット事業	○棚田を核とした農村の保全と振興 棚田サミット(2026年度浜松市開催)に向け、棚田が位置する中山間地域コミュニティを支える団体の 連携強化とともに棚田の魅力を活かした都市と農村交流の増加に繋がる円滑な全国棚田サミッ トの運営準備を進める。	3,803
		3,352

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
多面的機能支払 新規採択説明組 織数 (組織)	取組を実施検討可能な 地域の農業者団体	農村地域における高齢化、混住 化等の進行に伴う農地保全の 困難さと、農地関係者による保 全意向の確認計数となる。	目標値	-	1	2	2	2	2
			実績値	1	1				
			達成率	-	100%				
棚田関係人口の 増加率 (%)	各棚田で行われるイベ ントへの参加人数の増 加率(基準年:2024年 度)	棚田で行われるイベントへの参 加者の増減によって測定し関係 人口の増加率として捉える。国 民共通の財産である棚田地域 の魅力を生かし持続を図るた め、関係する者の計数となる。	目標値	-	5	10	15	20	25
			実績値	0	6				
			達成率	-	120%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
多面的機能支払 い交付金事業の 面積カバー率 (%)	浜松市(取組面積／青 地面積)	地域環境の維持や防災等の潜 在機能もあり、農作物生産の基 礎となる市内の農用地に対し て、事業に取組み適切な保全管 理が実施される農用地との率を 指標とすることで、健全な営農と 取組推進を行う。	目標値	-	35.0	36.8	38.5	40.2	41.9
			実績値	32.8	35.8				
			達成率	-	102%				
つなぐ棚田遺産 登録数 (地区)	優良な棚田を認定する 取組として実施されてい る登録の地区	国民共通の財産である棚田地 域の魅力を生かし、有する機能 の維持増進を図り、棚田地域の 持続を図る。	目標値	-	3	3	3	3	3
			実績値	3	3				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
市内の1農家当たり農業産 出額 (千円)	○	浜松市農業産出額／浜松 市農家数	実績値	3,091 (2022 年度)	2026年 8月確 定					4,300
			達成率	72%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
多面的機能支払い交付金事業	多面的機能支払交付金事業に関わる組織の広域化や新規取組組織の発掘を推進。2025年度は、浜北地域を対象とした組織の広域化に向けた調整を行った。	市内の多面的機能支払い組織への広域化の取組を推進し、新規地区の設立についても調整を進めている。
棚田サミット事業	棚田サミット(2026年度浜松市開催)に向け、棚田が位置する中山間地域コミュニティを支える団体の連携強化とともに棚田の魅力を活かした都市と農村交流の増加に繋がる円滑な全国棚田サミットの運営準備を進めた。 2025年8月に実行委員会を立ち上げ、委員会を2回(8月、3月)幹事会を3回(8月、12月、3月)開催した。	2026年度の棚田サミット開催に向けて運営準備を進める。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否
----------	---

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

2025年度は、多面的機能支払交付金事業について、未取組地区への事業の普及啓発や、組織の広域化に向けた地元調整を進め、計画どおりの達成が図られた。引き続き、農地保全活動を継続支援していく。
本市においては、農家の高齢化や担い手不足が農業発展の課題となっている。
一方、大規模経営体による農地の集積化も進んでおり、日常における農地や用排水路等の維持管理を担う、地元組織への支援策である、多面的機能支払交付金が重要な役割を担う為、本制度への取組組織の増加を目指していく。

棚田サミットは、2026年度に本市での開催を予定しており、今年度は開催に向けた最終調整を進めていく。サミットを契機に本市棚田における関係人口が増加する様、広く周知を図っていく。
つなぐ棚田遺産(久留女木/白檀/大栗安)についても、現在の登録数が維持される様、棚田の魅力発信や、活動組織への支援を継続していく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		林業振興課
	01	04	01	04	04	

政策
地域資源の保全と活用

政策の内容

耕作放棄地の解消や棚田振興等の農地保全に取り組むとともに、水源や自然環境の保全、景観、災害防止といった農山村の有する多面的機能を維持するため、農村関係人口の増加による農山村の活性化を図ります。食農教育を推進することで、市民の本市農林水産業への理解や農林漁業者とのつながりを深め、新鮮で安心感が得られる地産地消の取組拡充を図ります。農業分野では有機農業の促進、水産業分野ではブルーカーボンの導入、林業分野では建築物の木造・木質化や花粉症対策に取り組む、環境負荷低減等による持続可能性の確保に努めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

「浜松市森林・林業ビジョン」に基づき、方針のひとつである「森林を活かす新たな取組の展開」や「森林産業の創出」を図るため、カーボנקレジットの創出・販売等を進めるとともに、森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査、森林整備等を進めている。現在、SDGsや脱炭素社会の実現等、市民・企業の森林への意識は向上しており、この好機を活かし、日本最大のFSC認証林所有自治体として、天竜美林やFSC森林認証の認知度向上だけでなく、天竜材(FSC認証材)や天竜美林由来カーボנקレジットの販売に繋げられるかが喫緊の課題である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	168,508				
決算	153,746				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	6.8				
会計年度任用職員	1.9				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
森林・林業施設 管理事業	市民が身近にふれあうことのできる森林体験・交流施設の維持管理を行う。 ・天竜林業体育館、舞阪町民の森、三方原防風林、湖畔の森、光明山環境保全林、市民の森(天竜)	12,182
		11,564
市有林管理事業	浜松市が所有する森林(市有林)の維持管理のための森林整備を行う。	2,309
		2,247
天竜美林カーボ ンクレジット創出 モデル事業	天竜美林カーボンクレジットの所有者である協議会を主体とした創出から販売までのスキームの構築により、市内林業事業者のクレジットの取組を推進する。	8,154
		4,907
治山事業	1 県単独治山事業 ・県補助金等を活用し、山地崩壊地の復旧または荒廃の恐れのある林地等の工事を行う(1箇所)。 2 市単独治山事業 ・県補助金対象外の地区の治山整備を行う。 ・山地災害予防伐採支援事業(補助金)として、山地災害予防等を目的とした森林整備に対する助成を行う。	66,550
		48,275
防風林等被害対 策事業	舞阪町民の森、三方原防風林、県立森林公園周辺等の松林における、松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除や薬剤散布等を行う。	14,711
		14,409
カモシカ被害対 策事業	カモシカ(特別天然記念物)による食害を軽減するため、被害実態調査及び管理計画策定、個体調整等を行う。	10,690
		7,790
野生鳥獣出没緊 急対応事業	住宅地等に野生鳥獣が出没した際、迅速な現場出動による追い払い、注意喚起業務等を行い、市民の安心・安全を確保する。	2,915
		1,925
森林経営管理推 進事業	適切に管理されていない森林に対して、森林所有者の意向調査や計画作成等を行い、意欲と能力のある林業経営者に繋げることなどで林業の成長産業化及び適切な森林整備を図る。 ・森林管理意向確認等調査／対象森林の抽出、森林所有者への意向調査、計画作成等 ・浜松版森林経営管理事業／調査結果を基に、林業経営に適さない森林を整備	30,872
		27,764
スマート林業推 進事業	森林法に基づく開発行為や、違法伐採と疑われる案件等が発生した場合、迅速に現地に駆けつけ、現場状況の撮影及び測量等の実地調査を行う森林モニタリング推進対策事業や、林道デジタル台帳整備など、森林・林業分野の技術革新に通じる取組を行う。	20,125
		14,645

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
森林管理システム調査面積 (ha/年)	森林経営管理推進事業における意向調査実施面積	適切に管理されていない森林の整備状況を測る指数であり、実績値の増加により、間伐実施面積に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	570	570	570	580	580
			実績値	195	187				
			達成率	-	33%				
カーボンクレジット販売量【モデル事業】 (t-CO2)	天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業でのカーボンクレジット販売量(累計)	カーボンクレジットの普及状況を測る指数であり、実績値の増加により、市内のカーボンクレジット登録・販売増加に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	500	1,000	2,400	3,800	4,900
			実績値	-	0				
			達成率	-	0%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
間伐実施面積 (ha/年)	静岡県が調査する市内森林の間伐面積	本政策の内容に関し、森林整備の推進状況等を図る必要があることから本指標を設定した。この指標の増加により、「持続可能な森林経営・管理」の実現につながることを見込んでいる。	目標値	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	2,092 (2023年度)	2026年 9月確定				
			達成率	-	-				
森林経営活動プロジェクト登録件数 (件)	市内の森林を対象とした森林由来のカーボンクレジットのプロジェクト登録件数(累計)	本政策の内容に関し、森林の新たな価値としてカーボンクレジットの推進状況等を図る必要があることから本指標を設定した。この指標の増加により、木材生産ではない新たな「森林産業の創出」の実現につながることを見込んでいる。	目標値	-	8	10	12	14	16
			実績値	7	8				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
年間木材生産量 (千m ³ /年)		素材生産量調査(県実施) における木材生産量	実績値	101.6	92.8					257.2
			達成率	40%	36%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山村漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
森林・林業施設管理事業	森林関連施設の管理運営を行った。 ・天竜林業体育館(指定管理施設) ・舞阪町民の森 ・湖畔の森 ・光明山生活環境保全林 ・市民の森 ・三方原防風林 ・舞阪町民の森展望台撤去	市民が身近な森林にふれあう機会を創出するため、森林関連施設の管理運営を行う。
市有林管理事業	市有林の多面的機能の維持・増進や、通行の支障、災害の防止のための管理を行った。 ・カシ山市有林(利用間伐) ・鉄保市有林(木材搬出) ・舞阪町民の森(風倒木処理)	計画的に間伐等の施業を行うための情報が不足しているため、市有林の経営・管理に必要な基礎資料の整備を進めていく。
天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業	市と森林組合の協働による森林J-クレジットを創出した。 ・天竜森林組合81ha、420t-CO2 ・春野森林組合68ha、320t-CO2 ・龍山森林組合119ha、793t-CO2	クレジット販売のため、市場調査を踏まえたブランディング(他地域との差別化)や効果的なPRIにより、クレジットの創出・販売を通じた森林の価値最大化を図る。
治山事業	1 県単独治山事業 (1)春野町越木平(西谷)地区 設計測量・工事 (R7→R8繰越) 2 市単独治山事業 (1)天竜区横川(大平)地区 設計測量・工事 (R7→R8繰越) (2)天竜区大川(相津マリーナ) 設計測量 (3)その他治山事業(県営治山事業関連・施設修繕) (4)山地災害予防伐採支援事業	山地崩壊地の復旧、荒廃のおそれのある林地の予防および治山施設の補修工事等の森林整備を促進し、治山機能の強化を図る。
防風林等被害対策事業	・浜北森林公園周辺(薬剤散布) ・舞阪町民の森(薬剤散布) ・舞阪町民の森(伐倒駆除) ・三方原防風林(伐倒駆除)	森林公園及び防風林を松くい虫被害から守ることで、松枯れを防ぎ、森林が持つ本来の公益的機能を適正に発揮させるとともに、美しい景観の保全を図る。
カモシカ被害対策事業	・カモシカ個体調整(35頭) ・カモシカ被害実態調査(28箇所) ・カモシカ生息密度調査(4箇所) ・野生動物対応報奨金(19回)	カモシカに限らず森林被害を及ぼす野生動物は多くいるため、個体調整にあたっては有害獣種の見極めと確実な防除対策を進める。
野生鳥獣出没緊急対応事業	野生鳥獣出没緊急対応業務(21件)	通報受付、現場出動による追い払い、注意喚起業務等を委託により実施することで被害を減少させ、市民等の安心・安全の確保を図る。
森林経営管理推進事業	1 森林管理意向確認等調査業務 ・森林所有者数/107人 ・調査面積/187.18ha 2 浜松版森林経営管理事業 ・間伐(環境伐)実施地/10.82ha(1カ所:引佐)	森林経営管理法に基づく「新たな森林管理システム」とFSC森林認証の取得面積増加を連動させ、効果的・効率的な森林整備の推進を図る。
スマート林業推進事業	1 森林情報管理システム保守業務 ・土木情報管理システム内の森林情報の保守業務 2 森林モニタリング推進対策事業 ・0.5ha未満の実地調査:1件 3 LPWA活用推進事業 ・龍山地域にてR4～R6まで運用していたLPWA通信インフラ設備の撤去工事	ICT技術を駆使することで、森林・林道・治山施設における災害や林地開発行為に対して、正確かつ迅速な現場状況の把握を実現し、適時・適切な指導や迅速な対応を図る。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

市有林管理事業については、市有林の経営・管理に必要な基礎資料を整備する必要があることから、持続可能な経営管理に向けた体制を構築する。 治山事業については、山地災害防止のため引き続き荒廃の恐れのある林地の予防および治山施設の補修工事を行う。 カモシカ被害対策事業については、カモシカによる森林被害対策のため、引き続き個体調整を実施する。野生動物の出没については猟友会等と連携して対応する。 森林経営管理推進事業については、森林管理システム調査面積の目標未達であったが、森林所有者等の制度の理解が不十分であるという課題を踏まえ、広く事業の周知を行い、効果的、効率的な運用を推進する。し、年間木材生産量増加につなげる。 天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業については、森林経営活動プロジェクト登録件数は目標を達成した。市が協働で進める3件のプロジェクトについてクレジット創出が承認された。が、販売には至らなかった。今後はクレジットの地産地消を中心とした売買を進めるとともに、クレジットを活用した天竜材の認知度向上及びさらなる森林整備を推進する。
--